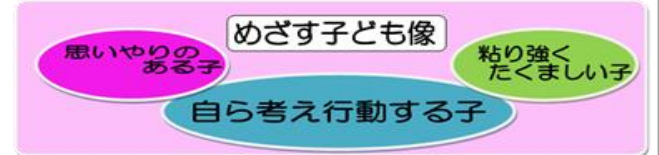




めざす学校像

互いに認め合い、高め合う学校
みんなが安心できる居心地のいい学校
開かれた学校（学校・家庭・地域がつながりあうことを大切にしている学校）



2学期が終了しました。 皆様の温かいご支援ご協力ありがとうございました。

猛暑の後の台風21号で始まった2学期ですが、運動会が雨で平日開催になってしまった以外は、遠足や学習発表会等の学校行事も、敬老の集い・地区運動会・避難所開設訓練・地区文化祭・お餅つきなどの行事も、すべて予定通り実施することができました。子どもたちは、様々な行事や学習に取り組む中で、自分たちで考えて作り上げていく喜びを感じ、楽しいだけではなく、しんどい思いや苦しさを乗り越えてたくましく成長しました。そして、私たち教員は試行錯誤を繰り返しながら、日々研修を重ねて、子どもたちと向き合ってきました。以下は、本校教頭がこの夏「学校心理カウンセラー研修講座」を受講した時の報告書です。これからも、この報告書のように、教職員全員と地域・保護者の皆様がチームとなって、子どもたちの成長を支援できる学校でありたいと願っています。今後ともよろしく願いいたします。

「経験の積み重ねが心の成長を促す」

「明日は失敗のない常に新しい日」は、映画『赤毛のアン』の中で主人公アンに対して担任のステイシー先生が言ったセリフであるが、研修初日に石隈先生が植松努氏の言葉「教育とは死に至らない失敗を安全に経験させるもの」を紹介されたときに頭の中をよぎった。

子どもの表出する「怒り」の感情にどのようにアプローチすれば良いのかなど、今までに受けた研修や専門書で得た情報をもとに子どもと向き合ってきたが、その対応への疑問や迷いが講義の中で心地よく解消された。「怒り」の感情をコントロールする力は、子どものネガティブな感情や行動を否定や脅威で抑えるのではなく肯定的に受け止め安心して感情を表出できる経験を積み重ねることで年齢相応に育つということを医学的な理論と事例を通して聞いたことが日々の実践を裏付けた。

子どもにとってうまく感情をコントロールできなかったことは失敗なのかもしれないが、かかわり方によって失敗ではなく経験として、明日はまだ失敗のない新しい日が待っているという希望になり成長の1ステップとなる。このことを教員全てが理解し、感情を表出できる、つまり、子どもにとって安心できる大人であり、感情を肯定的に受け止めてくれる大人でいられるようにならなければならない。担任だけでなく「チーム学校」で共通認識の下、実現していかなければならないのである。

自分の気持ち、感情と向き合い、時にはぶつかり、失敗し安心と愛情の中で怒り、泣く、叱られる、ほめられる、という経験をたくさんしてほしいと思う。そんな子どもたちの居場所として安心安全な学校を教員全員で作っていきたくないとあらためて感じた。

クリスマス・お正月と 子どもたちの大好きな行事が続きます。

安心・安全で楽しい冬休みになりますよう下記の点にご注意願います。

① 「早ね、早起き、朝ごはん」など基本的な生活習慣の継続を！お手伝いを進んでしよう。「お米を研いだことある人」とか「洗い物をしたことある人」と聞いて手を挙げる子どもの数は、おどろくほど少ないです。冬休みは大掃除やお正月の準備など家族の一員として子どもたちが活躍できる絶好のチャンスです。おうちの皆さんと一緒にさまざまな家事を体験して、仕事をすること（勤労）の大切さを考えてほしいと思います。【お手伝いをはじめさまざまな体験をすることは、今求められている社会に出てからも役に立つ力（PISA型学力）を育むためにとても有効であると言われています。】

② 安全な生活を心がけよう。

1. 校区外へは、子どもだけで、出かけない。（お年玉などお小遣いを持って出かけることも控えましょう。）
2. 交通ルールを守ろう。事故に気をつけよう。（人にやさしい道路の歩き方、自転車の乗り方をする・自転車に乗るときはヘルメットをかぶる・路上でのローラースケート、スケートボード、キックボード、一輪車などをしていない・信号を守るなど）
3. 知らない人からの声掛けに注意！（「イカのおすし」）

- ・ ついていかない
- ・ 車には、のらない
- ・ 大声を出す
- ・ すぐ逃げる
- ・ 大人の人に知らせる

不審者等に遭遇したときは、
まず、6849-1234(豊中警察)に一報を！(緊急は110番に)
次に、6849-7676(野畑小)へ連絡を！

*冬休みのくらしのプリントを家族で読みましょう

冬休みの間も、校区のあちこちで、はぐくみ隊のえんじ色のジャンパーを着た地域・保護者の皆さんが子どもたちを見守ってくださっています。ありがとうございます。



